

「親の愛」が

子どもを幸せに自立させる

子育ては、私たち人類にとってもっとも尊い仕事のひとつです。その尊さゆえに、それに携わる親たちには必ず大きな達成感をもたらすはずのところ、現実はそのほならないケースも数多く見受けられます。それは、子どもたちがあまりに無防備な状態で、私たち親の手にゆだねられるからです。

無防備な幼い命は、親が自分に接したように自分自身を扱うことを学びます。子どもに何をどう教えれば、私たちは親が子育ての喜びを十分に味わうことができるのか。私のライフワークであるハートフルコミュニケーションでは、子どもに3つのことを教えようと提案しています。その3つとは「愛すること」「責任」「人の役に立つ喜び」です。この3つを教えることに成功すれば、子どもは自然の摂理にそって、幸せに自立していきます。

「愛すること」を教える

何より子どもに最初に教えることは「愛すること」です。自分を愛すること、人を愛すること、生きることを愛することを教えます。そのため、子どもを愛することです。親の愛を一身に受けて育った子どもは、自分を愛することに前向きです。そんな子どもは、自分の愚かさや失敗さえも受け入れることができます。親に愛されることで自己肯定感が育つからです。一方、親に充分に愛されなかったと感じる子どもは、自分を愛するときも不器用です。実際親は、それぞれのやり方で子どもを愛します。ところが親の愛し方が子どもにとって愛の伝わるや



り方がどうかは、親の気質や子どもの気質によって異なります。つまり、親は愛していてもそれが伝わっていないこともあるということです。愛していることが伝わるやり方を考えましょう。たとえば「何やってるの!! 早くしなさい」ではなく、「こんなにできたね」とできたことを伝えることです。愛することは教えるのは母性の仕事です。

「責任」を教える

愛することを学んだ子が、生活を楽しむために次に必要になるのは「何かができる」ことです。日々の生活をより快適にするために、何ができるかを考え行動する力です。問題が起ったときに、誰かが何かをしてくれることを期待して待つだけではなく、自分から問題と対峙し、解決する力です。

その力を責任と呼びます。責任は Responsibility, Response 「反応する」 Ability 「能力」で、自分に起こったこと「反応」できる能力を指します。学校に行くようになった子どもが遅刻をしないように朝自分で起きる、というのがそれです。責任は子どもの成長に合わせて、子どものできること、するべきことを子どもに任せていくことで、その力が養われます。つまり、子どものするべきことに余計な手出しをせず、仕事を子どもに任せる。責任を教えるのは父性の仕事です。

「人の役に立つ喜び」を教える

人の中で生きるとき、子どもたちに求められるのは、人と良好な関係を結ぶことです。

その基本になるのが、人の役に立つ喜びです。人の役に立つ喜びを知っている子どもは、それを動機付けに行動を起こします。損得を考える前に、人のために動くこととする動機付けの種を蒔くために、子どもには親の役に立つことを教えましょう。お手伝いです。自分が親の役に立ったことを知った子どもは、そこで学んだ関係性を様々な人との間で再現しようとしていきます。そんな時、子どもは世の中から愛されるのです。

これらのことを教える最もよい時期は、子どもが幼いころです。小学校に上がる前に教えようと提案しています。ではそれを過ぎるともうだめか? そんなことはありません。早いに越したことはないのですが、もうひとつ言えることは、親が気づいたときがその時だということ。子どもは親が気づくのを待っているような気がします。

親は誰も完璧な子育ての方法を知っているわけではありません。子どももそんなものを求めてはいません。ただ、子どもは親に愛されたいのです。親と良い関係を持ちたいのです。そうとは思えない反抗期の子どもさえ、親からの温かい言葉を持っています。子どもとの距離を少し縮めてみませんか。

プロフィール

菅原 裕子 (すがはらゆうこ)

人材開発コンサルタント ワイズコミュニケーション代表取締役 NPO 法人ハートフルコミュニケーション代表理事 社員一人一人の能力を開発することで、組織の変化対応力を高めるコンサルティングを行う。

仕事の現場で学んだ「育成」に関する考えを子育てに応用して、「ハートフルコミュニケーション」を開発し、全国のPTA、地方自治体による講演会で紹介。また、それぞれの生活のなかで、ハートフルコミュニケーションを伝えられるハートフルコーチを養成し、日本中の親たちの子育てや自己実現を援助する活動を展開中。著書に『コーチングの技術・上司と部下の人間学』(講談社現代新書)『子どもの心のコーチング』(PHP文庫)など。